

# 第2回

## 大人になるとどう変わるか

### 考え方

**問一** ①のあとに注目。筆者は、日本の若い人たちと諸外国の同年代の人たちの、質問がないかと言われたときの反応を例にあげ、日本の若い人たちがどのような点で幼いのかを説明しています。

#### 《諸外国の同年代の人たち》

- ・アメリカ人とかフランス人とかの学生たちは、**ここを先送(せんどう)と質問**だけでなく自分の意見を言いはじめる。
- ・韓国の学生など、積極的にハキハキと質問する。
- 《日本の学生や十代の若い人たち》
- 重い口を開かせるのには苦勞する(＝自分からは質問をしない)。

諸外国の同年代の人たちは積極的に質問をしたり、自分の意見を言ったりするのに対し、日本の若い人たちは自分からは質問をしないという点に、筆者は幼さを感じているのですね。

### ポイント

ちがいを明らかにしてまとめるときは、「Aは○○なのに対し、Bは△△。」などとまとめましょう。

### 問四

③の直前に「まず態度からきちんと整える」とあるので、「気持ちそれぞれについてくる」とは、「気持ちもきちんとくる」という意味だとわかりますね。

では、「気持ちもきちんとしてくる」とは、具体的にどういうことなのでしょう。か。「態度をきちんとする」↓「気持ちもきちんとする」という関係に注意しながら、態度をきちんとした結果、どういふことになるのかを述べられている文を探しましょう。――③をふくむ段落の最初の一文に次のようにあります。

あいさつや礼儀(れいぎ)がきちんとできるようになったとき、たぶん君は、親、教師、さらには広く社会に対するあまえからだつきよくしようとする自覚を持つようになっていいるはずだ。(24～26行目)

ここから、「気持ちもきちんとしてくる」とは、「親、教師、さらには広く社会に対するあまえからだつきよくしようとする自覚を持つようになる」ということだとわかります。

まず、「気持ちそれぞれ(＝態度)についてくる」とは、「気持ちもきちんとくる」という意味なのかわかりました。



### 問五

「適切でないもの」を選ぶということに注意しながら、ア～エを一つずつ確認していきましょう。

ア ―― Xの直後に、「あいさつやお礼の言葉などを、必要な

### 問二

「大きな口をきく」は慣用表現で、「えらそうなことを言う。生意気なことを言う」という意味です。

なお、――②の直前の「私だって、大人ときちんと話し合っていることが大の苦手の少年時代を過ごしてきたのだから」という表現に注目すれば、文脈からも意味を導き出すことができますね。

### 問三

接続語の問題ですね。(A)をふくむ第二段落(だんらく)をしっかり読みましょう。

日本の社会では、大人から言われることを「ハイ、ハイ」と聞いていれば素直な子だと言われ、主張を通そうとすると「文句が多い」とかいつてきられる。

← (A)

大人と話す訓練ができておらず、あらたまってさあ自分の意見を言ってみる、などと言われると、「意見なんてないよ」とまごついて往生(わうせい)してしまう。

(A)の前には、あとの内容の理由が書かれていますね。このような場合に用いる接続語はウ「だから」です。

大人を相手に、自分の考えていることをきちんと伝えるのって、難しいよね。



ときに必要なだけ、きちんと伝えること(22～23行目)とありますね。

イ 最後の段落をよく読みましょう。相手から何かを察してもらおうとあまえたり、察してくれなければ口もきかないというのは、「子どもっぽいやり方」だと書かれていますね。

ウ ―― Xの直前の一文と最後の段落に注目しましょう。大人になるには、まず「自分の意見を言う」ことが大切です。さらに、「受け入れてもらえること」とも「ええなこと」との区別をきっちり受け止めて冷静に考えること(39～41行目)、つまり「状況を冷静に判断すること」が大切なのですね。

エ 最後の段落に、「大人にきちんとした態度をとり、礼儀正しく筋の通った話し方をしようとする」ということは、「大人たちと一対一の間人同士として向き合う」ということだとありますね。以上のことから、「適切でないもの」はイですね。

### 答え

#### 問一

諸外国の同年代の人たちは積極的に質問をしたり、自分の意見を言ったりするのに対し、日本の若い人たちは自分からは質問をしないという点。

#### 問二

エ

#### 問三

ウ

#### 問四

イ

親、教師、さらには広く社会に対するあまえからだつきよくしようとする自覚を持つようになるということ。